

授業科目(ナンバリング)	キャリア開発 I (BA111)			担当教員	乙須 翼・村上 広美		
展開方法	講・演	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
本授業は学生一人ひとりが、自分のこれからの人生を見据えた上で、大学生活 4 年間でこれからどう過ごせばよいのか、卒業後一人の社会人として自立するために何が必要なのか、また自分は何を大切に生きていきたいのかなど、自分の人生に関する考え方を確立できるようになることを目標とする。そのため本授業では、学生に自分のキャリアについて考える機会を様々な形で提供し、学生が主体的に自分の人生を考え、歩んでいけるよう導きたい。							④⑤⑥⑨⑩⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	社会人として求められる最低限の知識・技能を修得している。				課題の提出	20%	
情報収集、分析力	指定された方法で必要な情報を収集することができる。 収集した情報を指定された形式で整理することができる。 授業中に収集・作成・提示した資料を、これまでに学んだ知識や自身の経験などと関連させながら分析することができる。				課題の提出 グループワーク	20% 10%	
コミュニケーション力	新聞記事やアンケート結果など様々な形態の資料を的確に読み取り、読み取った内容をわかりやすく他者に説明することができる。 自身の考えを論理的な文章でわかりやすくまとめることができる。 他者の意見を傾聴、理解した上で、自身の考えを相手に的確に伝えたり、適切な質問をしたりすることができる。				課題の提出 グループワーク	20% 10%	
協働・課題解決力	他の学生と協力しながら、課題達成に向け協働することができる。 自分自身の経験を内省的また客観的に振り返り、自己の課題を認識した上でその課題の解決に向けた方策を考えることができる。				課題の提出 グループワーク	10% 10%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
定期試験は実施せず、毎回何らかの課題（アンケートや小テスト、ワークシートなど）を提出してもらう。課題については課題の内容や提出状況、小テストの結果などを基に評価する。グループワークについては、グループワークへの参加度（ワークを通じて作成した成果物などから評価）を基に評価する。それぞれの評価割合は、課題の提出 70%、ワーク等授業への参加 30%とする。提出されたワークシートやアンケートおよび小テストについては、授業内に返却や解説を行う形でフィードバックする。							
授業の概要							
授業は、学生のキャリア形成ならびに社会人として必要な基礎知識と基礎学力形成のため、自己分析を基にしたキャリアデザイン、SPI 等基礎学力講座、グループワーク、外部講師による講話等で構成される。アンケートや小テストについては、ポートフォリオのアンケート機能やレスポンスを通じて行う。なお、この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。							
教科書・参考書							
教科書：特に指定しない 参考書：授業中に適宜紹介する 指定図書：『朝日キーワード 2020』朝日新聞出版、2019 年							
授業外における学修及び学生に期待すること							
自分の人生は自分自身のものであり、最終的には自分自身で切り拓いて行く必要があるという事をよく認識してほしい。まずは大学での 4 年間で自分自身の人生のなかでどう位置付けるのか、その中で自分は何をどうして行くのかという事を真剣に考え日々の学生生活を送っていただきたい。その様に考えて行動する事が「自分磨き」につながり、この先社会人として自立して行く上で不可欠なものとなる。本授業は学生の参加によって成り立つ授業である。積極的な参加と真剣な取組に期待する。							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	オリエンテーション キャリアセンターと就職活動 について知ろう	授業の目的や内容についてシラバスを基に確認する。 キャリアセンターの利用と就職活動について理解する。 (乙須・村上・ゲストスピーカー(キャリアセンター課員))	予) シラバスの確認 復) キャリアセンターが行っている講座などを調べてみる
2	大学生生活の過ごし方と自分の 人生について考えてみよう	今後の大学生生活の送り方と自分の今後の人生がどのように つながって行くのかを考え、目標シートを作成する。 (村上)	予) 大学生生活の目標を考えて みる 復) 目標シートの完成
3	自分史を書いてみよう	自分の将来を思い描くために、自分の今までの人生を、 日本社会の変化と共に振り返ってみる。(乙須)	予) 2000年以降の日本社会の 変化を考えてみる 復) 自分史の見直し
4	自分に関するエッセイを書こう	自分史の作成を通じて見えてきた事や友達からもらった コメントなどを参考に、自分に関するエッセイを執筆する。 (乙須)	予) エッセイの構想 復) エッセイの完成
5	社会の動きに敏感になろう	今社会でどのような事が問題となっているのか、自分は どれぐらい社会の動きについて知っているのかを認識する。 (乙須)	予) 新聞を読んでくる 復) 授業中に出てきたわからない 言葉を調べてみる
6	社会人に必要な力を知ろう	社会ではどのような人材が求められているのかを企業の 人事担当の人の話を聞いて考える。(ゲストスピーカー (実務家教員))	予) 「社会人基礎力」という 言葉について調べる 復) 今どのような人材が求め られているかを自分なりに 整理してみる
7	SPI(基礎能力検査)をやってみよう(1)	社会人として求められる知識のうち主に言語分野を学ぶ。 問題を解き、自分自身の基礎学力レベルを認識する。 (ゲストスピーカー(外部講師))	予) SPI(言語分野)とは 何かを調べてみる 復) 問題・解説の復習
8	SPI(基礎能力検査)をやってみよう(2)	社会人として求められる知識のうち主に非言語(数的 処理)分野を学ぶ。問題を解き、自分自身の基礎学力 レベルを認識する。(ゲストスピーカー(外部講師))	予) SPI(非言語分野)とは 何かを調べてみる 復) 問題・解説の復習
9	グループワーク(1)	入社試験を始め、合意形成や企画立案等、社会の色々な 場面で取り入れられているグループワークを体験する。 初回はアイスブレイキングを中心に行う。(乙須・村上)	予) グループワークとは何かを 調べる 復) グループワークの約束を 復習しておく
10	グループワーク(2)	グループワーク第2回目では、指定されたテーマについて ブレインストーミングを行い、グループで論点の整理を行う。 (乙須・村上)	予) どのようなグループワーク があるか調べる 復) 課題に取り組む
11	グループワーク(3)	グループワーク第3回目では、各自が収集してきた情報 を整理・分析し、グループで課題探究をしていく。 (乙須・村上)	予) 課題の準備 復) 次回のグループワークの 作業の確認
12	グループワーク(4)	グループワーク第4回目では、課題探求の成果をまとめ、 発表を行う。また、体験を振り返り、コミュニケーション 能力や他者との協働・課題解決力の重要性について考える。 (乙須・村上)	予) 発表の準備 復) グループワークへの自分の 参画を振り返る
13	働くことについて考えよう	社会人として働くということはどういうことなのかを事例等 を通して考える。(ゲストスピーカー(外部講師))	予) 労働に関する法律を調べる 復) 労働に関する法律や規則の 復習
14	先輩から学ぼう	就職活動を経験した先輩から話を聞き、大学生生活の過ごし 方について改めて考えてみる。(ゲストスピーカー(4年生) ・村上)	予) 就職活動について想像 してみる 復) 大学生生活の過ごし方を 考えてみる
15	大学生生活一年間の振り返り レポートの作成	大学生生活1年目を振り返り、第1回目の授業で記入した目 標シートの達成状況を確認する。更に次年度以降自分が 身に付けて行くべき力は何かを考え、「自分磨き」へのア クションプランを作成し、レポートに記入する。(乙須・村上)	予) 自分が作成した目標シ ートの内容を思い出す 復) アクションプランを見 直し、今後の大学生生活の 過ごし方を考える